

【フランス】2019年欧州議会選挙—ル・ペン氏の支持する党が第1党—

海外立法情報課長 三輪 和宏

1 フランスにおける欧州議会選挙制度

2019年5月25、26日、フランスで欧州議会選挙が行われた。この選挙は、欧州議会議員のうちフランスから選出される74（イギリスのEU離脱後は79）人を選ぶものであった¹。選挙制度は、全国1区の拘束名簿式比例代表制が採用された。議席配分の計算方式としてはドント式が用いられ、5%以上の票を獲得した政党に限って議席を配分する阻止条項が設定されている。この選挙では、34の候補者名簿提出政党が結成され、そのうち6つが阻止条項以上の得票を獲得し議席配分を受けた。

2 選挙結果の概要

投票率は、50.12%とフランスの欧州議会選挙としては1999年以降で最高で、前回よりも約7.7%増えた。選挙の特徴は、次の4点である。①マリーヌ・ル・ペン（Marine Le Pen）氏が支持するEUに批判的な右翼政党と、エマニュエル・マクロン（Emmanuel Macron）大統領の与党の共和国前進が支持するEUに肯定的な中道リベラル政党のどちらかが優位に立つかが注目された中、結果は、前者が僅差で第1位になった。②環境保護派のヨーロッパ・エコロジーが第3位（12議席）になり、前回選挙の第5位（6議席）から躍進した。③かつての二大政党で伝統的政党に位置付けられる共和党（中道右派）と社会党（中道左派）が支持する政党は、獲得議席、得票率ともに1桁台となり、前回選挙では、前身に当たる政党が、各々、第2位（20議席）と第3位（13議席）であったことと比較して低迷した。④当選者中の女性議員の比率は50%（イギリスのEU離脱後は49%）で、前回選挙より8%増えた。

表 フランスにおける2019年欧州議会選挙の結果（2019年5月26日のフランス内務省公表の確定値）

欧州議会会派名	候補者名簿提出政党 (対応する主な国内政党)	議席数	得票率
アイデンティティと民主主義 (ID)	政権を獲得せよ、マリーヌ・ル・ペンにより支持される名簿 (国民連合)	22 (23)	23.34%
欧州刷新 (Renew Europe)	共和国前進、民主運動及びそのパートナーにより支持される再生 (共和国前進、民主運動)	21 (23)	22.42%
緑・欧州自由同盟 (Greens/EFA)	ヨーロッパ・エコロジー (ヨーロッパ・エコロジー=緑の党)	12 (13)	13.48%
欧州人民党 (EPP)	右派中道連合 (共和党)	8 (8)	8.48%
欧州統一左派・北欧緑の左派同盟 (GUE/NGL)	不服従のフランス (不服従のフランス)	6 (6)	6.31%
欧州社会民主進歩同盟 (S&D)	エコロジカルかつ社会的なフランスへの願望 (社会党)	5 (6)	6.19%

(注) 「対応する主な国内政党」は代表的政党のみを記載。議席数のうち（ ）内はイギリスのEU離脱後の議席数。

(出典) “Résultats des élections européennes 2019,” 2019.5.26. Ministère de l'Intérieur website <<https://www.interieur.gouv.fr/Actualites/Communiqués/Resultats-des-elections-europeennes-2019>>; Parlement européen, “Résultats par parti national: 2019-2024,” 2019.5.29. <<https://resultats-elections.eu/resultats-nationaux/france/2019-2024/>> を基に筆者作成。

* 本稿におけるインターネット情報の最終アクセス日は、2019年7月11日である。

¹ 79人のうち、5人はイギリスのEUからの離脱が効力を発したときから議員としての資格を付与される。